

読書会からのおすすめ

毎週弊社で行っている「読書会」から
皆さんに読んでいただきたい1冊をご紹介します



営業第2部 池田 裕之



新津春子

世界一清潔な空港の清掃人

(新津春子 著 朝日新聞出版)

自分の仕事を徹底的に好きになる事で、更に高みを目指していること、そしてお客様が喜んでくれることを自らの喜びと言い切り、「お客様が喜んでくれる」為にはどんな些細な事も徹底して行動する。読んでゆくと、自分の至らなさを感じつつも「自分もそうありたい」と勇気もらった一冊でした。

新津さんの様に出来そうで出来ない「当たり前」のことを徹底的に行う凡事徹底の人になりませんか。

このWEBサイトにはマネジメントに関する本の紹介がたくさんあります。是非ご覧ください。

NATTARA
トレーニングスクール

このQRコードで
NATTARAスペシャル
サイト (NATTARA
READING JUNGLE)



労働・社会保険 インフォメーション

「面接時」に差別につながる質問例



面接時に、差別につながるおそれのある質問例を厚生労働省で定めています。応募者をリラックスさせるために何気なく聞いたことが、その把握により偏見や予断を招き、結果として採否決定に影響を与えて「就職差別」につながるおそれがあるため注意が必要です。

一例として、

「あなたは、何人兄弟の何番目ですか」「両親は、離婚されているのですか」「父親の職業は何ですか」「アパート住まいですか」「尊敬する人はいますか」「今の政策をどう思いますか」「結婚、出産後も働き続けますか」「なぜ進学しなかったのですか」等があります。ぜひ一度、厚生労働省のHPでご確認をしてください。

株式会社 札幌総合保険コンサル
〒004-0841 札幌市清田区清田1条1丁目4番30号
電話:011-883-1000 FAX:011-883-1010 (旧札幌総合保険事務所)
電話:011-883-5667 FAX:011-883-5749 (旧総合保険コンサル)
※お電話による受付時間 平日9:00~17:00



札幌総合保険コンサル

第11号

2022.11

HAPPY

通信 いつも 身近に。

私たちは、
プロの保険代理店です

2022年10月1日、
有限会社札幌総合保険事務所、
株式会社総合保険コンサルは
「株式会社 札幌総合保険コンサル」として
新たな体制でスタートいたしました。
お客様の安全・安心に向け、
一層のサービス充実と新たな価値を
提供できるよう取り組んでまいります。
今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう
お願い申し上げます。

代表取締役会長 嶋上正男
代表取締役社長 越前賢一

HAPPY通信 第11号もくじ

保険TOPICS

ご存じですか

For Business
コラム

実験のすすめ

Information

札幌総合保険コンサルスペシャル情報

役立つ保険の新知识

保険 TOPICS ご存じ ですか

最近よく聞く保険に関する話題や事例。知っているのと、きっと役立つ保険の新知识をタイムリーにピックアップしてご紹介します。

業務災害 への備え

様々な業種で起こる賠償請求のリスク・・・
御社の備えは大丈夫ですか？
～こんなリスクが潜んでいます～

飲食業

店長として勤務していた社員が就寝中に心房細動を発症し、意識不明で寝たきりに・・・

勤務会社の
**安全配慮義務違反
認定**

判決認容額
約1億8760万円

建設業

木材販売加工を行う会社に勤務社員が操作するクレーンから落下した木材があたり第1級後遺障害に・・・

勤務会社と
代表取締役の
**安全配慮義務違反
認定**

判決認容額
約1億6524万円

製造業

調味料の製造業務を行う会社勤務社員が自殺 原因は過酷な作業環境と長時間労働と同僚との確執

勤務会社の
**安全配慮義務違反
認定**

判決認容額
約1億1111万円

**使用者賠償責任保険
のご加入を！
お急ぎ下さい**

プロの保険代理店として、私たちは、CS（ちゃんと説明する）がモットーです。保険に関わることで、わからないこと、不安に思うことなど、ご質問・ご相談ください。

For Business コラム 実験の すすめ

活き活き企業を目指して

活気ある組織、お客さまに信頼される組織づくりを目指して、学んだことは、まずやってみよう＝「実験してみよう」の精神で、さっそく今日から始めてみませんか。成功への合言葉は、『実験』です。

●今号のテーマ

「認知的ケチ」 を利用しよう



代表取締役社長
越前 賢一

(2) 棚卸をした課題を
改めて考え直す場を設けましょう

いろいろな課題を見出したら、それを整理、優先順位を付けるのはリーダーの仕事です。

メンバーは日頃のルーティンワークを持っているために、棚卸課題に真剣に考えることがなかなかできません。だからこそ、リーダーは、定期的に日時を決め、棚卸課題についてどのようにチャレンジするかをみんなで考える場をつくるのが大切なのです。

たとえ小さな取り組みでも、その先に新たな発見や気づきが必要です。そこからイノベーションは起きると思うのです。

(3) 新たな取り組みは「実験」。
失敗は当然です

「実験」は多くの失敗があっても「実験」です。失敗したらまたやり方を変えるのです。やり方を変える勇気を持つことです。

成果を生まない仕事には何か欠陥があるので、それを見つけて改良していく。その繰り返しで大きな成果を生むと考えます。

心理学で、『認知的ケチ』という言葉があります。「認知的ケチ」とは、「面倒くさいことをやめて、こうしたら便利だね」と考える人間が本来持っている心理的な概念です。これを発揮することが、実はイノベーション（革新）につながるのではないかと思います。今回は、身近な職場でもイノベーションに取り組もうというテーマです。

(1) まず定期的な仕事の
棚卸をしましょう

よく「こういうルールでやれと言われています」とか、「こうしたやり方に慣れている」とかで、今やっている仕事の仕組みに疑問を持たず、マンネリ化していることもあります。

これは「認知的ケチ」の対極にあるものです。脳は新しいことに拒絶反応を起こす傾向があります。

だからリーダーは、日頃から非効率なもの何かを考える機会をメンバーに与えることが大切です。つまり、メンバーの持っている「認知的ケチ」を呼び起こすのです。

困った時の〈ビジネスお悩み相談室〉を開設しています。
担当スタッフにお気軽にお申し出ください。